

平成23年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年12月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ソフトウェア・サービス
 コード番号 3733 URL <http://www.softs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮崎 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 伊藤 純一郎

TEL 06-6350-7222

四半期報告書提出予定日 平成22年12月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年4月期第2四半期の業績(平成22年5月1日～平成22年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年4月期第2四半期	2,824	91.4	445	99.7	437	97.7	254	97.4
22年4月期第2四半期	3,091	40.4	446	63.3	448	70.7	261	123.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年4月期第2四半期	47.65	—
22年4月期第2四半期	48.77	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年4月期第2四半期	7,577	6,797	89.7	1,273.67
22年4月期	8,593	6,806	79.2	1,275.38

(参考) 自己資本 23年4月期第2四半期 6,797百万円 22年4月期 6,806百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年4月期	—	0.00	—	50.00	50.00
23年4月期	—	0.00	—	—	—
23年4月期 (予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年4月期の業績予想(平成22年5月1日～平成23年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	13.5	2,090	15.6	2,097	15.4	1,260	18.1	236.11

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年4月期2Q 5,488,000株 22年4月期 5,488,000株

② 期末自己株式数 23年4月期2Q 151,168株 22年4月期 151,022株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年4月期2Q 5,336,867株 22年4月期2Q 5,354,085株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	8
(1) ハードウェア仕入実績	8
(2) 受注実績	8
(3) 販売実績	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあるものの、円高の進行、輸出・生産の鈍化、及び公共投資の減少を背景にした停滞感が見られる状況にありました。収益改善の流れを受けて、企業の設備投資意欲にも持ち直しの気配がありますが、設備過剰感を完全に払拭するには至らず、回復のペースは緩やかなまま推移しました。医療業界におきましても、診療報酬については10年ぶりのプラス改定が実施されたものの、医療費の抑制、及び適正化が依然として強く意識される状況下にあります。その反面で勤務医や介護職員の処遇改善、また救急医療及び周産期・小児医療の充実等、担うべき負担は増大し、病院経営を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

このような中で当社は、医療の効率化、及びクオリティ向上に不可欠な統合系医療情報システムである、電子カルテシステムの開発・販売を中心に事業を展開し、平成22年10月には第52回全日本病院学会内にてプレゼンテーションを行う等、積極的に受注を獲得してまいりました。ニューズへの的確な対応を目的とした既存顧客とのコミュニケーションも順調であり、同年8月には「第6回SSユーザー会」（122病院・295名参加）、「第4回SSユーザー看護部会」（82病院・158名参加）、及び「第1回SSユーザーシステム管理者部会」（115病院・163名参加）が開催され、データの運用や活用を始めとした情報交換が活発に行われました。また、医療業界において非常に高い注目を集めるクリティカルパスにつきましては、同年11月に「クリティカルパス勉強会」の主催を予定する等、今後も、顧客病院との堅固な関係性の継続と顧客満足度の向上に対して真摯に取り組んでまいります。

医療業界のシステム投資意欲の低調状態は長期化し、市場における有力ベンダー数社の競争は避けられないものとなっております。そのような中で、当第2四半期累計期間の当社の業績は、売上高2,824百万円（前年同四半期比8.6%減）、受注高4,026百万円（同45.3%増）、受注残高3,402百万円（同51.1%増）、利益面におきましては、営業利益445百万円（同0.3%減）、経常利益437百万円（同2.3%減）、四半期純利益254百万円（同2.6%減）となりました。なお、セグメントの業績につきましては、当社は医療情報システム事業の単一セグメントであるため、上述と同様となります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

<資産・負債及び純資産の状況>

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産につきましては、前事業年度末と比較して1,016百万円減少し、7,577百万円となりました。主な要因は、現金及び預金1,347百万円の減少、たな卸資産73百万円の増加、及び売上債権384百万円の増加によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末と比較して1,006百万円減少し、779百万円となりました。主な要因は、仕入債務356百万円の減少、及び未払法人税等468百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末と比較して9百万円減少し、6,797百万円となりました。主な要因は、四半期純利益254百万円及び第41期利益剰余金の配当金266百万円によるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ2,447百万円減少し、1,022百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、1,070百万円（前年同四半期は349百万円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期純利益437百万円、たな卸資産増加額73百万円、仕入債務減少額356百万円、売上債権増加額384百万円、法人税等の支払額594百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,112百万円（前年同四半期は12百万円の支出）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入300百万円と、定期預金の預入による支出1,400百万円、及び有形固定資産の取得による支出11百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、264百万円（前年同四半期は223百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額264百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年4月期の業績予想につきましては、平成22年6月11日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

一部簡便な会計処理を適用しておりますが、重要性が乏しいため注記を省略しております。
また、四半期財務諸表の作成に特有の会計処理については、該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益への影響はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年10月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,422,965	3,770,878
受取手形及び売掛金	1,313,140	928,268
商品	129,605	56,183
仕掛品	97,271	97,572
その他	73,792	121,028
貸倒引当金	△7,366	△6,976
流動資産合計	4,029,408	4,966,955
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,318,687	1,373,085
構築物(純額)	20,368	21,413
工具、器具及び備品(純額)	112,145	128,307
土地	1,629,652	1,629,652
有形固定資産合計	3,080,853	3,152,458
無形固定資産	11,103	11,071
投資その他の資産		
投資有価証券	279,607	285,900
関係会社株式	20,000	20,000
その他	156,348	157,002
投資その他の資産合計	455,956	462,903
固定資産合計	3,547,912	3,626,434
資産合計	7,577,321	8,593,389
負債の部		
流動負債		
買掛金	162,560	519,386
未払法人税等	142,470	611,086
前受金	200,904	353,558
その他	274,029	302,702
流動負債合計	779,964	1,786,733
負債合計	779,964	1,786,733
純資産の部		
株主資本		
資本金	847,400	847,400
資本剰余金	1,010,800	1,010,800
利益剰余金	5,101,208	5,113,738
自己株式	△162,180	△161,967
株主資本合計	6,797,228	6,809,970
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	128	△3,314
評価・換算差額等合計	128	△3,314
純資産合計	6,797,356	6,806,655
負債純資産合計	7,577,321	8,593,389

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日)
売上高	3,091,514	2,824,911
売上原価	2,252,751	1,897,819
売上総利益	838,762	927,091
販売費及び一般管理費	392,256	481,991
営業利益	446,506	445,099
営業外収益		
受取利息	946	2,220
受取配当金	1,923	533
その他	1,705	2,212
営業外収益合計	4,575	4,965
営業外費用		
支払利息	—	118
投資有価証券評価損	2,920	12,090
営業外費用合計	2,920	12,208
経常利益	448,162	437,856
特別利益		
貸倒引当金戻入額	292	—
特別利益合計	292	—
特別損失		
固定資産除却損	175	196
特別損失合計	175	196
税引前四半期純利益	448,279	437,660
法人税、住民税及び事業税	170,140	135,162
法人税等調整額	17,006	48,178
法人税等合計	187,146	183,340
四半期純利益	261,133	254,319

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	448,279	437,660
減価償却費	90,913	78,610
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△292	389
受取利息及び受取配当金	△2,870	△2,753
支払利息	—	118
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,920	12,090
固定資産除却損	175	196
売上債権の増減額 (△は増加)	298,876	△384,872
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△179,405	△73,119
仕入債務の増減額 (△は減少)	23,081	△356,825
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△38,943	△92,303
前受金の増減額 (△は減少)	△28,985	△152,654
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	4,155	67,556
その他	△514	△11,985
小計	617,389	△477,892
利息及び配当金の受取額	2,780	2,697
利息の支払額	—	△118
法人税等の支払額	△270,877	△594,953
営業活動によるキャッシュ・フロー	349,292	△1,070,267
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,302	△11,271
無形固定資産の取得による支出	△3,601	△1,780
定期預金の払戻による収入	—	300,000
定期預金の預入による支出	—	△1,400,000
短期貸付金の回収による収入	616	291
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,287	△1,112,759
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	100,000
短期借入金の返済による支出	—	△100,000
自己株式の取得による支出	—	△212
配当金の支払額	△223,829	△264,673
財務活動によるキャッシュ・フロー	△223,829	△264,886
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	113,175	△2,447,912
現金及び現金同等物の期首残高	1,931,461	3,470,878
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,044,636	1,022,965

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、医療情報システム事業の単一セグメントであるため、記載していません。

(追加情報)

第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

当社は、医療情報システム事業の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況を種類に拠って記載しております。

(1) ハードウェア仕入実績

ハードウェアの仕入実績を示すと、次のとおりであります。

種類	当第2四半期累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日)	前年同四半期比 (%)
ハードウェア (千円)	370,178	38.5
合計 (千円)	370,178	38.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

受注実績を種類別に示すと、次のとおりであります。

種類	受注高		受注残高	
	当第2四半期累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日)	前年同四半期比 (%)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア (千円)	2,482,847	130.8	1,937,363	134.2
ハードウェア (千円)	1,543,414	176.8	1,464,892	181.3
合計 (千円)	4,026,261	145.3	3,402,255	151.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

販売実績を種類別に示すと、次のとおりであります。

種類	当第2四半期累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア (千円)	1,505,127	118.2
ハードウェア (千円)	347,576	34.4
保守サービス (千円)	972,207	120.5
合計 (千円)	2,824,911	91.4

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 前第2四半期累計期間及び当第2四半期累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第2四半期累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年10月31日)		当第2四半期累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
社会保険紀南病院	625,188	20.2	—	—
財団法人厚生年金事業振興団 東京厚生年金病院	332,918	10.8	—	—
徳州会インフォメーションシ ステム株式会社	—	—	588,131	20.8

3. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。